



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

■石叫◎

「父の日」

今年も「父の日」がやってきた。この日になるといつも思い出される一つのメッセージがある。それはジェームス・ドブソン博士に起こったある出来事だ。博士が大好きなバスケットボールの練習をしていた時のことだ。突然、一緒にプレーをしていた友人が倒れたのである。博士は茶目つ気のある彼のことだから、また何かをしかしたのだろうと思っていたのだが、そばに行ってみると、もう心臓が止まっていた。いくら声を大にして叫んでも彼は応えてはくれなかった。そこで博士は思った、「彼は死ぬ前に、何か言いたかったに違いない。それを是非とも聞いておきたかった」と。その夜、息子のライアンに、「今日のような出来事がいつ自分に起こるとも限らないから、今それをあらかじめ君に言っておくよ。君がどんな高級取りになったとしても、あるいは逆に貧しいどん底の暮らしをしたとしても、お父さんは構わない。お父さんの唯一の願いは、どういう状態でも良い、君がとにかく天国に来てくれることだ。ライアン、これだけは約束してくれるね。そして必ず天国で会うんだぞ」と言ったという。

僕は今年一月に三十年連れ添ってきた家内をガンで失い。この四月には二十二年間も家内の看護に付き添ってくれた母を腎不全で失った。さらに娘は二月に嫁いでいった。今は息子との二人暮らしである。娘は日曜夜に毎週、夫と一緒に来ては私たちと食事をする。わが家に来る一つの理由は私と一緒に家内の写真や思い出の品々を見て泣くことなのだ。一方、仕事と学びで多忙の息子とは、どんなに彼が遅く帰宅しても一緒に食事をする。お互い一緒になって家内や母の死を乗り越えてきただけに、食事はお互いに慰め合い、寂しさを乗り越えるためでもある。そんな私たちの共通の願いは家内が死ぬ直前まで神を賛美していたように、その神の居られる天国で家内や母と再びまみえることにある。

どんなに健康な家族であっても、この地上での家族としての交わりは五十年、あるいはせいぜい六十年ほどであろう、しかし、聖書に、「御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネ三・一六)とあるように、私たちには永遠の世界が備えられている。この世界で愛の絆ほど強く素晴らしいものはなく、神との愛の関係も見えないから永遠に続くのである。

僕にとって父の日はやはりドブソン博士の「天国で合うぞ」という叫びをファミリーで確認することにある。それは愛する家内の叫びでもあり、何よりも永遠の命の主である御子イエス・キリストの十字架からの叫びでもあるからだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

